

昭和41年度日本鉄鋼協会秋季大会実行委員

(敬称略 五十音順)

大会顧問

浅田 長平 前支部長 (株)神戸製鋼所相談役
 岩瀬 慶三 前支部長 京都大学名誉教授
 薄井 一哉 尼崎市長
 斉藤 省三 前支部長 大阪府立大学名誉教授
 多賀谷正義 前支部長 大阪大学名誉教授
 西村 秀雄 前支部長 京都大学名誉教授
 日向 方斉 住友金属工業(株)取締役社長
 平田 竜馬 富士製鉄(株)常務取締役広畑製鉄所長
 広田 寿一 前支部長 住友金属工業(株)会長
 藤井 寛 前支部長 大阪大学名誉教授
 藤本 一郎 川崎製鉄(株)取締役社長
 吉田 実 八幡製鉄(株)常務取締役堺製鉄所長

大会名誉実行委員長

沢村 宏 前支部長 京都大学名誉教授
 鉄鋼短期大学学長

大会実行委員長

外島 健吉 関西支部長
 (株)神戸製鋼所取締役社長

実行委員 ◎委員 長代行 ◎総務委員

朝井 英清 神戸大学教授
 浅田 幸吉 (株)神戸製鋼所取締役神戸工場長
 浅村 均 大阪府立工業奨励館金属部長
 ◎足立 彰 大阪大学教授(工学部)
 ○足立 正雄 京都大学教授(工学部)
 ○池島 俊雄 住友金属工業(株)取締役技術部長
 ○伊佐 重輝 鉄鋼短期大学教授
 井上 敏郎 八幡製鉄(株)堺製鉄所副所長
 ○茨木 正雄 大阪大学教授(産研)
 ○今井 光雄 川崎製鉄(株)取締役技術研究所長
 井本 正介 大阪大学教授(工学部)
 潮田 豊治 昭和アルミニウム(株)取締役企画部長
 江塚 保 南海製線鋼索(株)取締役社長
 大谷文太郎 ダイハツ工業(株)伊丹事業部事業部長
 大森 基一 神鋼鋼線鋼索(株)取締役社長
 岡田 実 大阪大学教授(工学部)
 岡林 邦夫 大阪府立大学教授(工学部)
 ○荻野 和巳 大阪大学教授(工学部)
 尾崎 良平 京都大学教授(工学部)
 尾上 慎一 川崎製鉄(株)葦合副工場長
 亀井 清 関西大学教授(工学部)
 河合 正雄 大阪府立大学教授(工学部)
 川田多佐雄 (株)中山製鋼所取締役本社工場長
 川島 浪夫 東洋アルミニウム(株)取締役社長
 葛原 義雄 姫路工業大学講師
 小出 秋彦 住友金属工業(株)専務取締役
 粉生 宗幸 中外炉工業(株)専務取締役
 ◎佐野 忠雄 大阪大学教授(工学部)
 三治 博信 日立造船(株)理事桜島工場長

篠田 軍治 大阪大学教授(工学部)
 ○清水 恭治 大阪府立大学教授(工学部)
 島津 新一 (株)島津製作所常務取締役
 ○菅野 五郎 (株)神戸製鋼所中央研究所長
 住友 元夫 住友金属工業(株)常務取締役
 中央技術研究所長
 芹沢 正雄 山陽特殊製鋼(株)常務取締役
 芹田 勇 富士製鉄(株)広畑製鉄所研究所長
 曾我美 豊 三菱重工業(株)京都製作所品質管理部
 次長
 高木 秀夫 京都大学教授(理学部)
 高村 仁一 京都大学教授(工学部)
 竹中 哲哉 久保田鉄工(株)取締役
 田地川健一 大同鋼板(株)専務取締役
 田中 正三 川崎重工業(株)取締役技術研究所長
 田中 伸三 日本鋼管(株)常務取締役
 ○谷口 光平 鉄鋼短期大学教授
 ○土田 義和 鉄鋼短期大学事務局長
 鳥居勇三郎 住友電気工業(株)伊丹製作所
 特殊線事業部技師長
 川崎重工業(株)技術研究所副所長
 中嶋朝太郎 日本鋼管(株)大阪営業所技術サービス
 室長
 森崎 晟 (株)中山製鋼所専務取締役
 西岡多三郎 帝国産業(株)専務取締役
 西原 清廉 京都大学教授(工学部)
 稔野 宗次 大阪大学教授(工学部)
 藤田 英一 大阪大学教授(基礎工学部)
 舟阪 渡 京都大学教授(工学部)
 堀 茂徳 大阪大学教授(工学部)
 前田 要 三菱重工業(株)神戸造船所総務部次長
 三河 定男 住友金属工業(株)常務取締役
 和歌山製鉄所長
 三谷 裕康 大阪大学教授(工学部)
 ○美馬源次郎 大阪大学教授(工学部)
 ○三宅 正宜 大阪大学助教授(工学部)
 ○村上陽太郎 京都大学教授(工学部)
 村田 正雄 日本伸銅(株)専務取締役
 ○盛 利貞 京都大学教授(工学部)
 守川喜久雄 住友金属工業(株)取締役鋼管製造所長
 ○森田 志郎 京都大学教授(工学部)
 矢野 勝 三菱重工業(株)京都製作所所長付
 吉井 重雄 住友金属工業(株)常務取締役製鋼所長
 ○吉岡 正三 大阪府立大学教授(工学部)
 吉川 三郎 日本伸銅(株)堺工場製造部長代理
 吉野 政治 神鋼鋼線鋼索(株)専務取締役
 本社工場長
 渡辺 省三 富士製鉄(株)取締役広畑製鉄所副所長

特別講演会開催のお知らせ

10月16日(日) 9:40より

第72回講演大会の開催を機会に、下記のごとく特別講演会を行なうことになりました。

昨年は造船、建築の大口需要先から材質的要望ならびに展望について講演願ひ、好評を博しましたが、今回はいま話題となつている本州と四国を結ぶ「長大橋」について、その概要、使用する鋼材の性質、溶接など建造上の問題を中心に、将来の橋梁用大形鋼材の需要見通しならびに使用者として大型鋼材に対する意見などを土木工学の専門家から直接講演していただくことになりました。

会員各位におかれましても、興味ある問題であると同時に、裨益するところ大なるものがあると思われましますので誘い合わせのうえ多数ご来聴下さるようご案内いたします。

記

1. 日 時 昭和 41 年 10 月 16 日 (日) 9:40~12:00
2. 場 所 鉄鋼短期大学講堂
3. 講 演 長大橋について
東京大学教授 工博 奥村敏恵君

講演プログラム変更のお知らせ

第72回講演大会プログラムは「鉄と鋼」8号にてご案内いたしました。プログラム中一部変更がありましたのでお知らせいたします。

変更プログラムは9号・10号(講演論文集)、11号(講演概要集)に掲載いたしてありますが、下記変更表をご覧のうえお間違いなくご聴講下さいますようお願いいたします。

8号掲載プログラム			変更プログラム(9・10・11号掲載)		
会場名	講演時間	講演番号	会場名	講演時間	講演番号
第2会場	16:10	46	第1会場	16:25	11
第1会場	16:25	11	第1会場	16:45	12
第1会場	16:45	12	第1会場	17:05	13
第1-2会場		13-45	第1-2会場	講演時間変更なし	14-46(1番ずつ繰下げ)
第2会場	16:30	47	第2会場	16:10	47

第2種講演概要集配付についてのお知らせ

——「鉄と鋼」臨時増刊号(第11号)——

本会は第72回講演大会より第1種講演(講演論文提出)と第2種講演(講演概要提出)の2形式で講演会を開催いたすことになり、会員各位より多数の講演申し込みがありました。

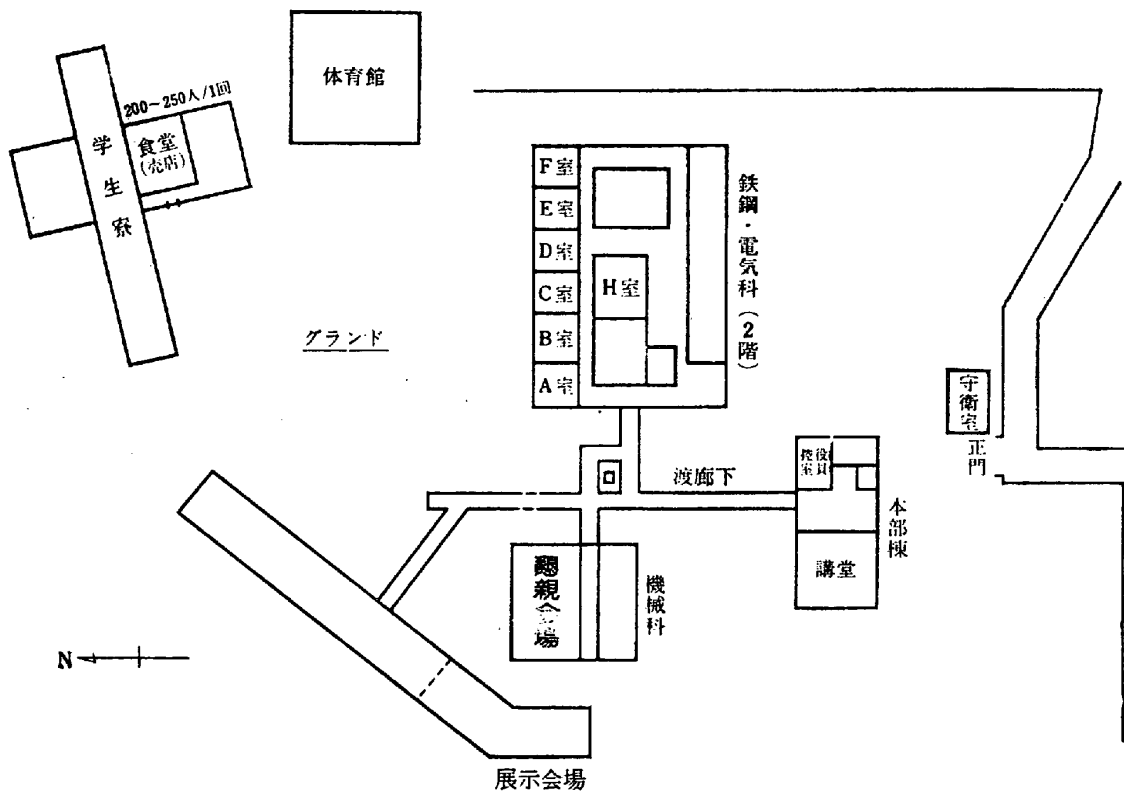
第2種講演申し込み案内に際し「鉄と鋼」第4号、5号、6号に第2種講演概要集は希望者に有料頒布すると会告いたしました。が、「鉄と鋼」第11号(臨時増刊号)として会員全員に配付することになりましたのでお知らせいたします。

第72回講演大会日程表

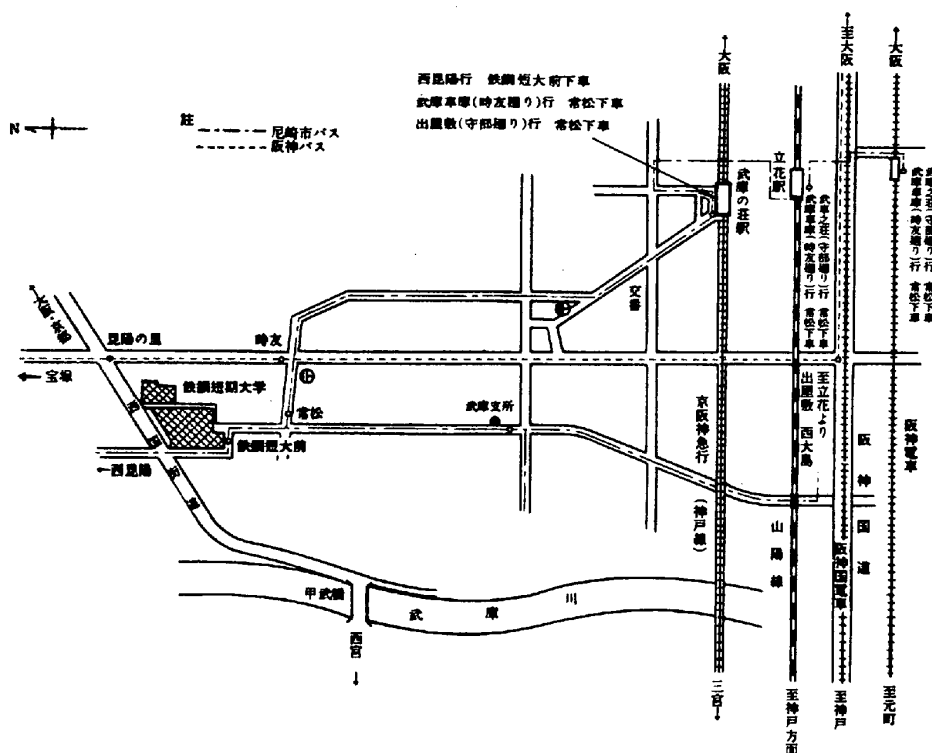
日		10月16日 (日)	10月17日 (月)	10月18日 (火)
会場				
第1 A室	前		ラテライト (14~19)	製錬反応還元 (20~26)
	後	ペレット (1~13)		焼 結 (27~37)
第2 B室	前		還 元 (48~54)	熱風炉, レンガ, その他 (55~62)
	後	原料の還元性状 (38~47)		高 炉 操 業 (63~73)
第3 B室 講堂	前		—講堂— 製鋼基礎 (74~82)	—講堂— 製鋼基礎 (95~102)
	後		—B室— 製鋼基礎 (83~94)	—講堂— 製鋼基礎 (103~114)
第4 C室 H室	前		—H室— 転炉, 平炉, 応用 (127~134)	造 塊 (147~154)
	後	転炉応用 (115~126)	平炉, 電炉, その他 (135~145)	造 塊 (155~161)
第5 D室	前		性 質 (174~182)	加 工 (195~203)
	後	耐 熱 鋼 (162~173)	加 工 (183~194)	分 析 (204~213)
第6 E室	前		介在物, 性質 (227~234)	性 質 (247~254)
	後	表面処理, その他 (214~225)	強 力 鋼 (235~246)	
第7 F室	前		性 質 (267~275)	性質, 加工 (276~284)
	後	鉄鋼の組織・性質 (255~266)		
		討論会 (午後) 講堂…… 1) 鋼の脱酸と介在物 H室…… 2) 熱間振り試験による鋼の加工性 の評価 講堂…… 特別講演会 (午前) 長大橋について	討論会 (午後) 講堂… 1) 高炉における高圧 操業 H室… 2) X線マイクロアナ ライザーの鉄鋼へ の応用	討論会 (午後) H室… 1) 鉄鋼の格子欠陥

- 1) 開始時間は3日間とも9時30分より
- 2) ()内数字は講演数を示す。

講演会場案内図



講演会場付近略図 (バス発着時間はP 6 ページ参照)



尼崎市バス時刻表 (料金20円均一)

阪急武庫之荘駅前発

国鉄立花駅前発

時刻	系統別	10			51	9				9		10					
		時友經由武庫車庫行 常松下車 (△印日祝日運休)			西 昆 陽 行 大学前下車	時友經由守部出屋敷行 常松下車				時友經由武庫荘行 常松下車		時友經由武庫車庫行 常松下車					
7 時	}	13	38		22	56	0	16	29	42	54	21	43	0	25	51	
8 //		5	10 ^A	27	50	30	17						23	43	15	37	
9 //				23	50	1	37			30			27	57	10	37	
10 //																	
14 //				20	50	7	37	0		30			27	57	7	37	
15 //																	
16 //				20	48	7	35	0					27	51	7	29	59
17 //			12	36		5	34	0		30	58			15	40	23	48
18 //		1		25	49	5	41		12	36			28	52	12	36	
19 //			13	37		10	45	0		24	50	4		16	47	0	24
20 //		5	37		10	43			21	51			18	48	22	52	
20 //		5	35		12	46			21	55			18	46	22	52	

- 1) 常松下車大学までは徒歩3分(300m)
- 2) バス所要時間 阪急武庫之荘から約10分・国鉄立花から約25分

大学から阪急武庫之荘駅行

大学から国鉄立花駅行

時刻	系統別	10		51	9			10		9					
		時友經由出屋敷行 松常乗車		武庫之荘行 大学前乗車	時友經由武庫之荘行 常松乗車			時友經由出屋敷行 常松乗車		立花出屋敷行 常松乗車					
11 時	}	0	30		24	54	13	43	0	30	7	37			
14 //															
15 //		0	30	56	24	52	13	43	0	30	56	7	37		
16 //			21	46		22	52	7	31	56	5	32	56		
17 //			11	35	59	24	20	44	11	35	59	8	20	44	
18 //			23	46		0	28	8	32		23	46	8	31	57
19 //			16	46		2	30	3	34		16	46		28	58
20 //			16	48		0	29	4	34		16	48		28	

- 1) この時間の外に臨時市バスが阪急武庫之荘・大学の間に次の通り増発されます。
午前(9時~10時) 3往復2台, 午後(16時~18時) 6往復1台*
また学会チャーターのバス(40人)1台が9時から18時までの間大学・武庫之荘を適宜運転します(料金20円)
 - 2) タクシー料金 武庫之荘から約140円・立花から約240円
- * 午後の便はもし利用者が少ないときはとりやめる予定。